

# 相馬市の食品検査状況について

## 年度別食品放射能検査結果

	測定件数	基準値超	基準値超割合
平成24年度	3,078	99	約 3.2%
平成25年度	2,074	33	約 1.6%
平成26年度	1,243	11	約 0.9%
平成27年度 (平成28年度2月末現在)	845	5	約 0.6%

※出荷制限品目等を除く

- ◆基準値を超えている食品の内訳は、ほとんどが出荷制限等のかかっている山菜・きのこ類(山で採れるもの)です。
- ◆相馬市産の米は、全量全袋検査を実施し、基準値(100Bq/kg)を超えたものは、ありませんでした。
- ◆大根やニンジン等、畑で採れる野菜は、そのほとんどが基準値以下という結果が出ています。



非破壊式測定器(市役所)

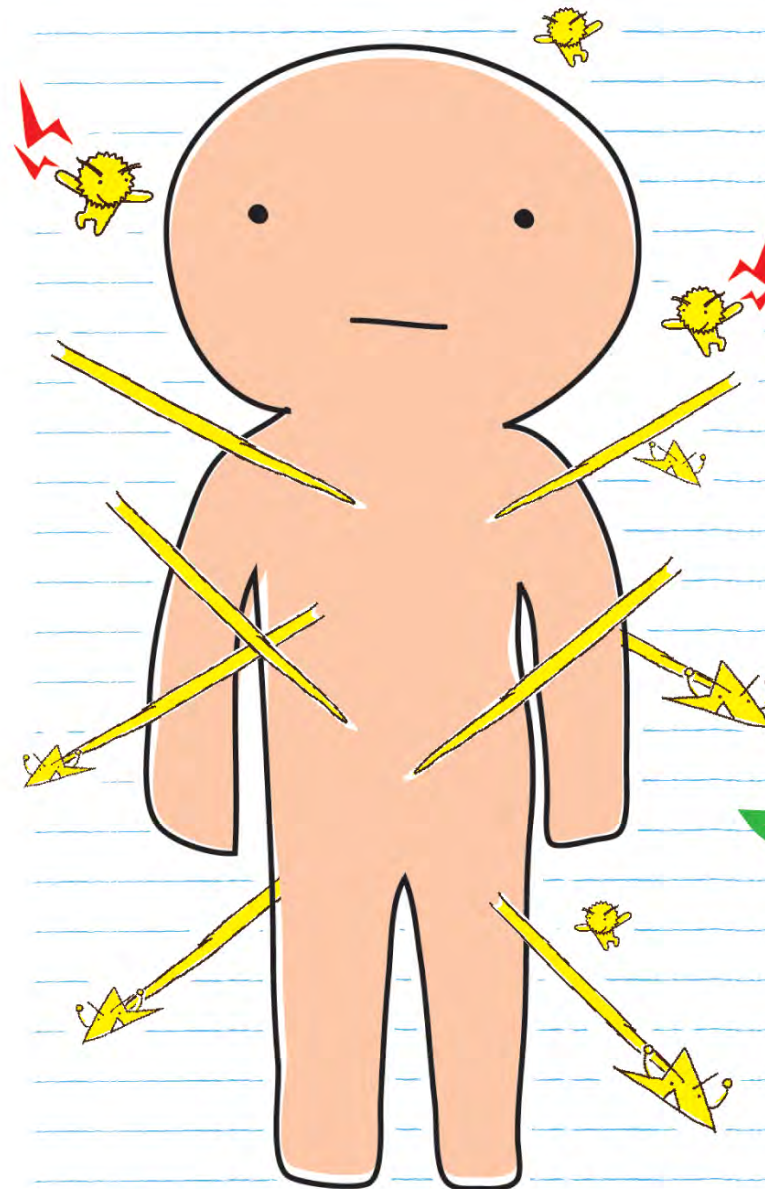


米の全量全袋検査

※食品の測定は、市役所、各地区公民館等の施設で実施しています。

Q. 外部被ばくってなに??

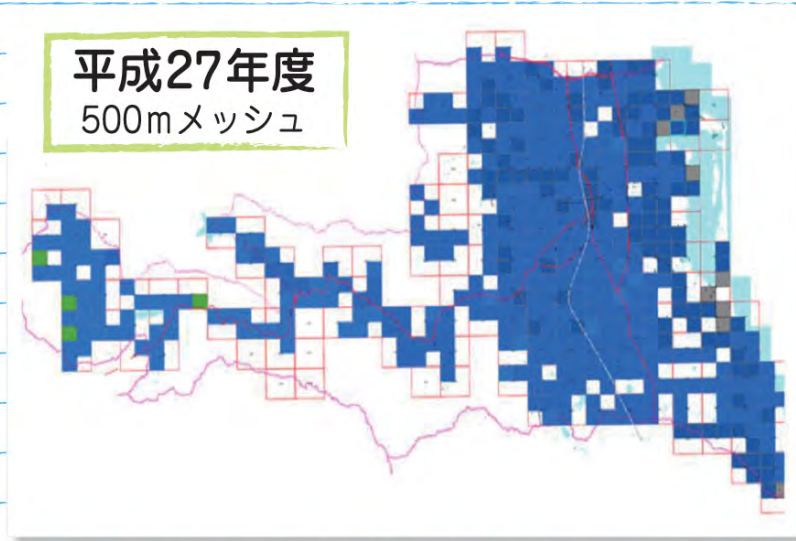
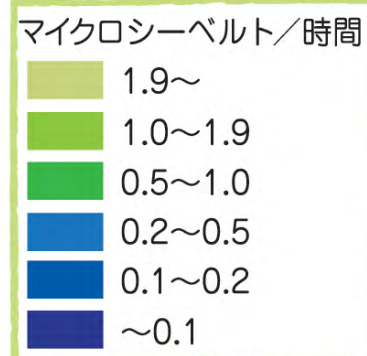
体の外にある放射性物質から、放射線を受けることを「外部被ばく」と言います。



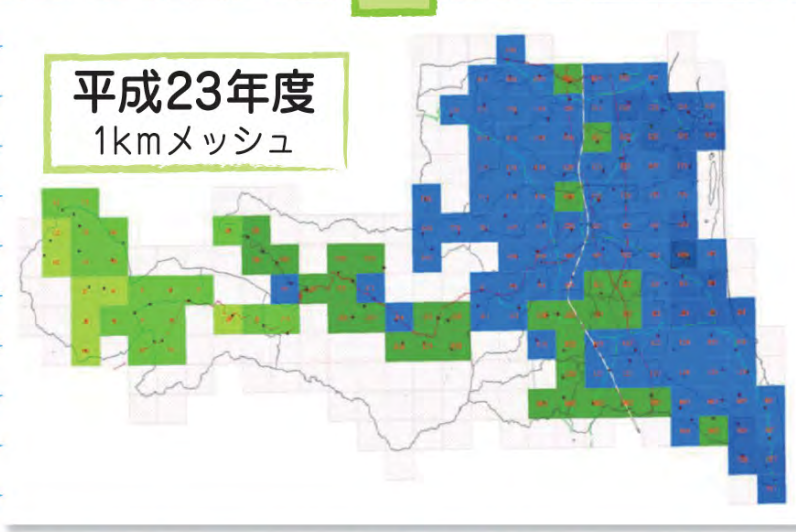
原発事故の時に飛んできた放射性物質は、雨と一緒に地面に落ちて土や泥にくっついたので、今は空気中にはほとんどありません。

# 網かけ(メッシュ)調査結果(市全体 比較)について

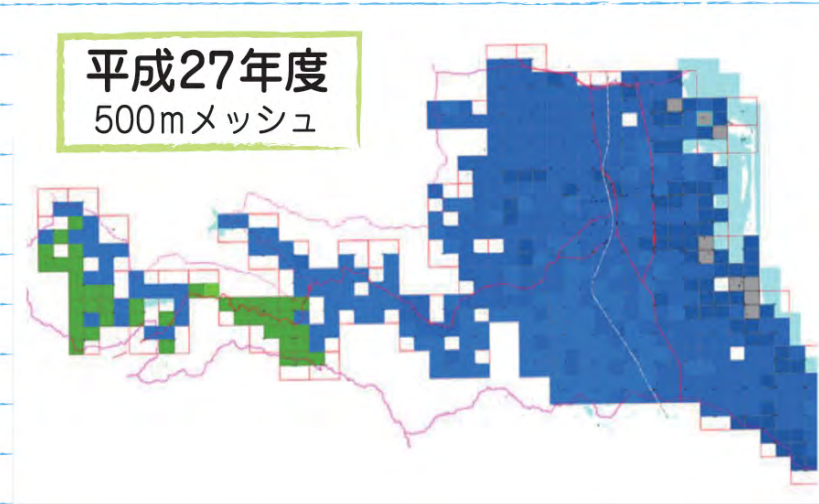
地表面：舗装



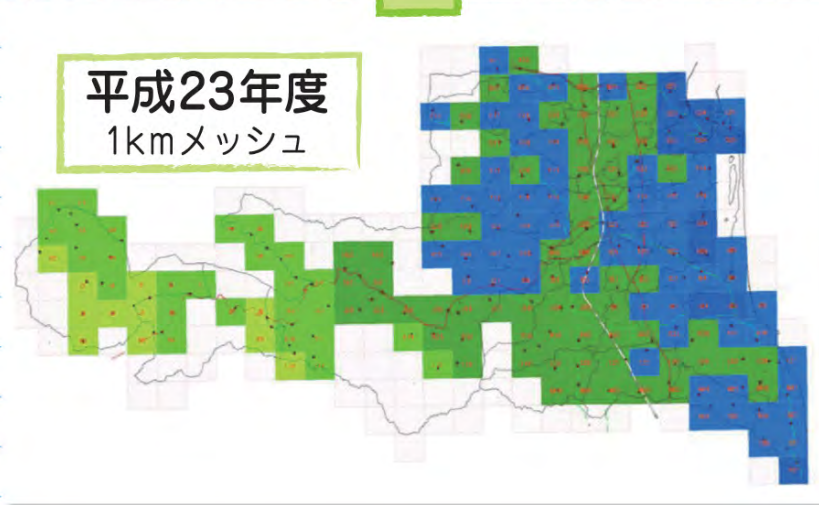
74%低減



地表面：土

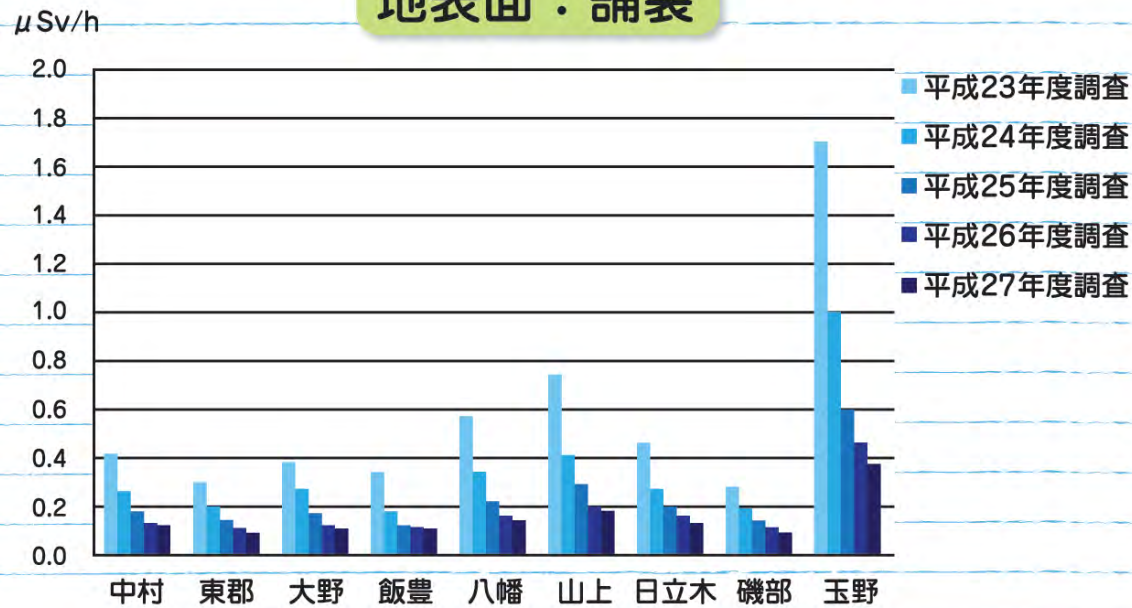


69%低減

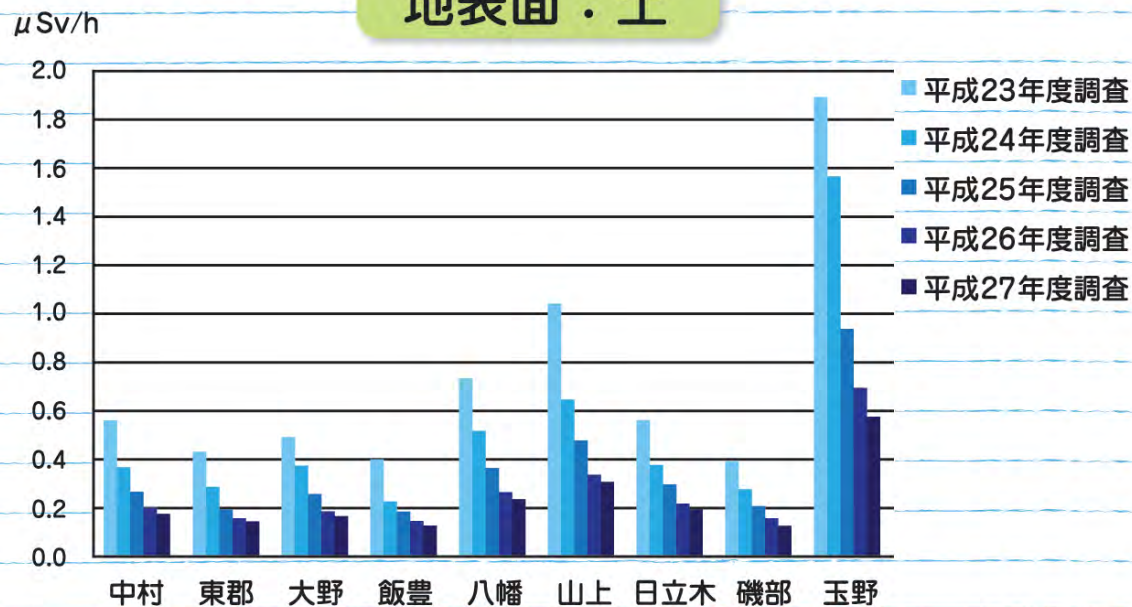


# 網かけ(メッシュ)調査結果 (地区別比較)について

## 地表面：舗装



## 地表面：土



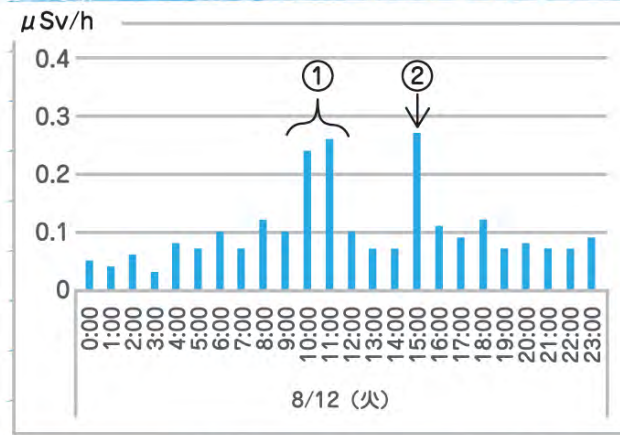
# 外部被ばく 測定方法について

ガラスバッジ (3か月着用)  
【子ども(中学生以下)、妊婦】

D-シャトル (2週間着用)  
【大人(高校生以上)】



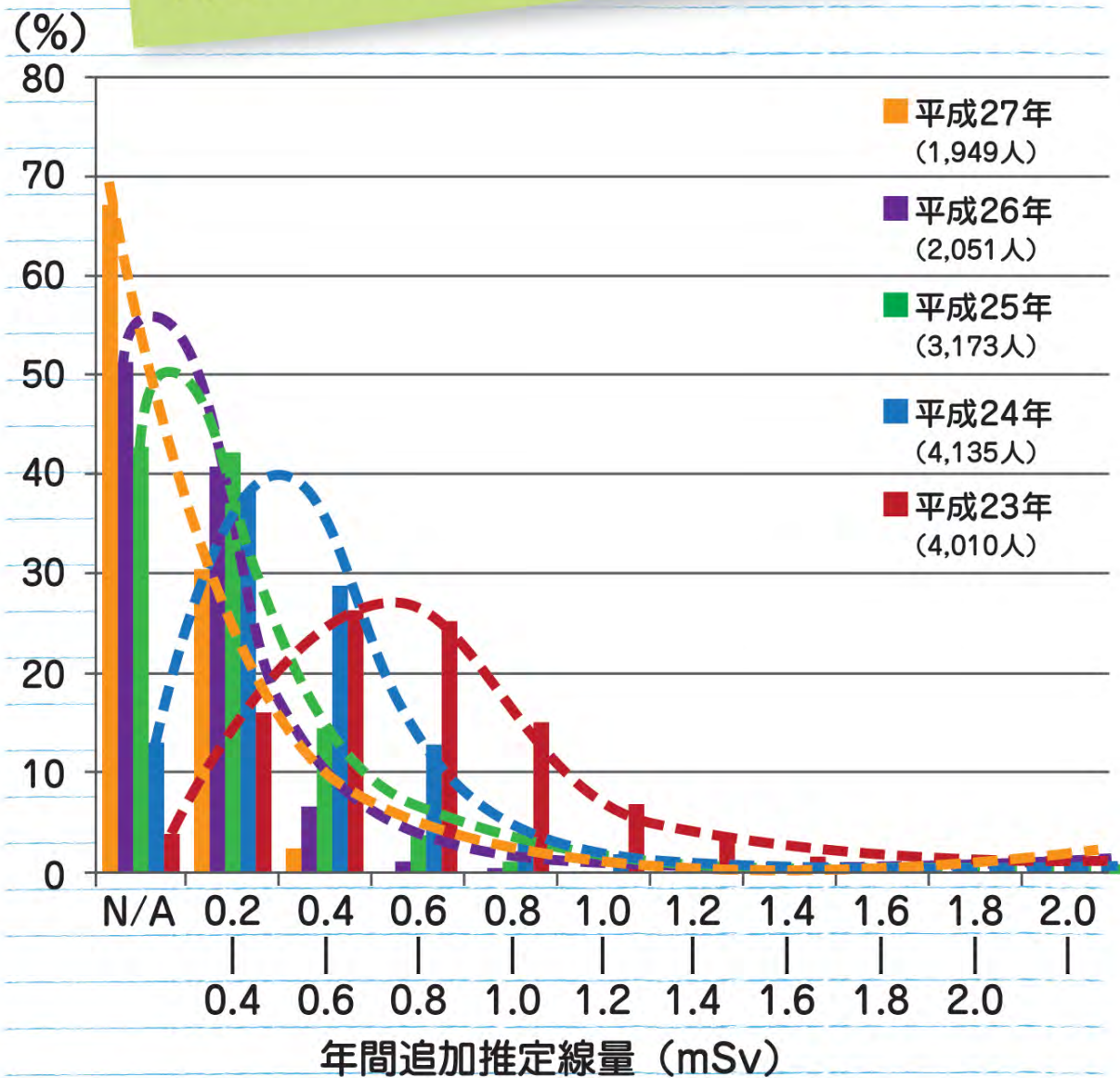
外部被ばく測定には、個人積算線量計を使用します。個人積算線量計とは、個人が受けた放射線の量(外部被ばく量)を測定し、積算線量を算定することができる小型の線量計です。測定方法は、線量計を測定期間中、首にかけて測定を実施します。D-シャトルの場合、測定により、1時間毎の外部被ばく線量を記録することができるため、行動記録と照合することにより、より場所ごとの線量の違いを把握することができます。



時刻 月日	No. 氏名					
	6	9	12	15	18	24
8/12 (火)	~7:30 自宅	8:30 市役所	10:20 除染現場	12:00 市役所	15:00 除染現場	16:30 市役所
						18:30 自宅

① ②

# 相馬市の外部被ばく検査状況について



市が設定した年間推定追加外部被ばく線量の目標値（1.6mSv/年）を超える方が、昨年は2名であったのに対して今年は0名でした。また、全員が1 mSv/年を下回っていました。現状の相馬市内での生活上、外部被ばくは健康に影響を及ぼすとは考えられない程度に十分低減されていると考えられます。

# Q. 住宅の除染ってなにをするの？

放射性物質は、時間とともに自然に減っていきませんが、長い時間がかかるので、放射性物質そのものを取りのぞく作業を除染といいます。



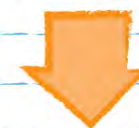
除染前



除染後



除染では、放射性物質のついた土を削ったり、草を刈ったり、落ち葉などを拾い集めて放射性物質を取り除きます。



取り除いた土などは、仮置場で保管を行っています。仮置場では、定期的に空間線量測定を行うなど異常がないことを確認しています。



## 放射線に関するよくあるQ&A

Q. 除染されていない土に触れてあそぶのはだいじょうぶ？

A. 自宅周囲が除染されていないといっても、短時間の遊びにより、被ばく量が大きく増えるわけではありません。たとえ土に触れたとしても、よく手を洗うことで放射性物質は洗い流されます。外部被ばくにおいて、最も気をつけるべきは、滞在時間の長い就寝場所などの線量を低く維持することが大切です。

Q. 子どもを産むことはできますか？

A. 全く問題ありません。  
約40週までの妊娠期間に100ミリシーベルト以上あびると影響がないとは言えないとされていますが、相馬市で普通に暮らしていく上で、このようなレベルの被ばくをすることはありません。

Q. ストロンチウムやプルトニウムのことは考えなくてよいのですか？

A. 食品の基準値では、セシウムからの影響だけではなく、ストロンチウムなどによる内部被ばくをも考慮して設定されています。今現在の環境中には、セシウム以外の放射性物質は、セシウムに比べて圧倒的に少ないことがわかっています。  
ストロンチウム90は、セシウムのおよそ1000分の1しか存在しません。

Q. 放射性物質がたまりやすい場所は？

A. 一般に放射性物質は、粘土に付着しやすい性質を持っています。雨水や排水が集まる場所、雨風により泥・土壌が溜まりやすい場所、湿り気があり植物が生えている場所で放射性物質が溜まっている場合があります。

Q. 国道6号線を通ったらどれくらい被ばくするの？

A. 国道6号線を避難指示区域であった楢葉町から南相馬市までの42.5kmを時速40kmで1回通行すると、およそ $1.2\mu\text{Sv}$ 被ばくすることがわかっています。  
この値は、胸部X線集団検診の被ばく線量（1回あたりおよそ $30\sim 60\mu\text{Sv}$ ）の約25～50分の1に相当します。

Q. 自宅の放射線量を知りたいが、放射線測定器の貸出をしていますか？

A. 市では、市民の身近な空間線量率の測定に利用していただくため、簡易型放射線測定器（メリディアン社製「プリピャチ」）を無償で貸出を行っています。